

# 高度ポリテクセンターが提供する 令和5年度 生産性向上支援訓練のご案内

## 生産性向上支援訓練 3つのポイント

### 1. 4分類14分野128コースのカリキュラムを用意

- DX対応・組織力強化・業務効率向上などの生産性向上に効果的な知識や技法を習得する訓練のカリキュラムを用意

### 2. 選べる受講スタイル

- お一人から受講が可能なオープンコース
- 個々の企業・事業主団体ニーズに対応するオーダーコース（対面・オンライン・ハイブリッド）

### 3. 受講しやすい料金設定

- 受講料は1人あたり2,200～6,600円(税込)
- 要件を満たす場合は、公的助成金が利用可能

## 1. 4分類14分野128コースのカリキュラム

**A) 生産・業務プロセスの改善** 4分野 42コース  
生産管理、品質保証・管理、流通・物流、バックオフィス

**B) 横断的課題** 2分野 48コース  
組織マネジメント、生涯キャリア形成

**C) 売上げ増加** 4分野 17コース  
営業・販売、マーケティング、企画・価格、プロモーション

**D) IT業務改善** 4分野 21コース  
ネットワーク、データ活用、情報発信、倫理・セキュリティ

## 2. 選べる受講スタイル

受講スタイル 内容	オープンコース	オーダーコース (対面) (オンライン) (ハイブリッド)
受講対象者	複数の企業・事業主団体の指示による従業員が合同で受講	企業・事業主団体の要望による単独、又はグループ・系列企業の従業員による受講
訓練会場 訓練日時	ポリテクセンターが設定	ご要望に応じて調整が可能（パソコンが必要なコースは貸与可能）
カリキュラム内容	既定のカリキュラム内容	ご要望に応じて訓練のカリキュラム内容の調整が可能

### ◆ オーダーコースのメリット

- ご希望の日時・場所で受講できます。
- 訓練時間の合計が同じなら、受講料は同一料金です。  
(例：6時間 x 1日と3時間 x 2日は同一料金)
- 企業・事業主団体の要望に応じて、訓練のカリキュラム内容の調整（カスタマイズ）が可能です。
- 受講者数は、6名～20名程度まで対応可能です。
- 企業・事業主団体の保有するグループウェアで、同時双方向通信（オンライン）の受講も可能です。

### ◆ オーダーコースの利用可能コース数

同一企業・事業主団体が、年度内に利用できるオーダーコースの上限数は6コースです。

但し、DX対応コース及びミドルシニアコース（生涯キャリア形成）の利用には、この制限は適用されません。

※ 予算に限りがありますので、ご希望に添えない場合があります。

## 3. 受講しやすい料金設定

◆A) 生産・業務プロセス改善、B) 横断的課題、C) 売上げ増加		◆D) IT業務改善	
訓練時間	受講料/人【税込】	訓練時間	受講料/人【税込】
6時間以上～12時間未満	3,300円	4時間以上～12時間未満	2,200円
12時間以上～19時間未満	5,500円	12時間以上～18時間未満	3,300円
19時間以上～30時間以下	6,600円	18時間以上～30時間以下	4,400円

※ 受講料は、分野とコースの訓練時間数で算定します。オープンコースとオーダーコースでの料金の差はありません。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 千葉支部 高度訓練センター

高度ポリテクセンター 生産性向上人材育成支援センター

〒261-0014 千葉市美浜区若葉3-1-2

TEL: 043-296-2582 FAX: 043-296-2585 ☒ kodo-poly02@jeed.go.jp

高度ポリテクセンター

検索



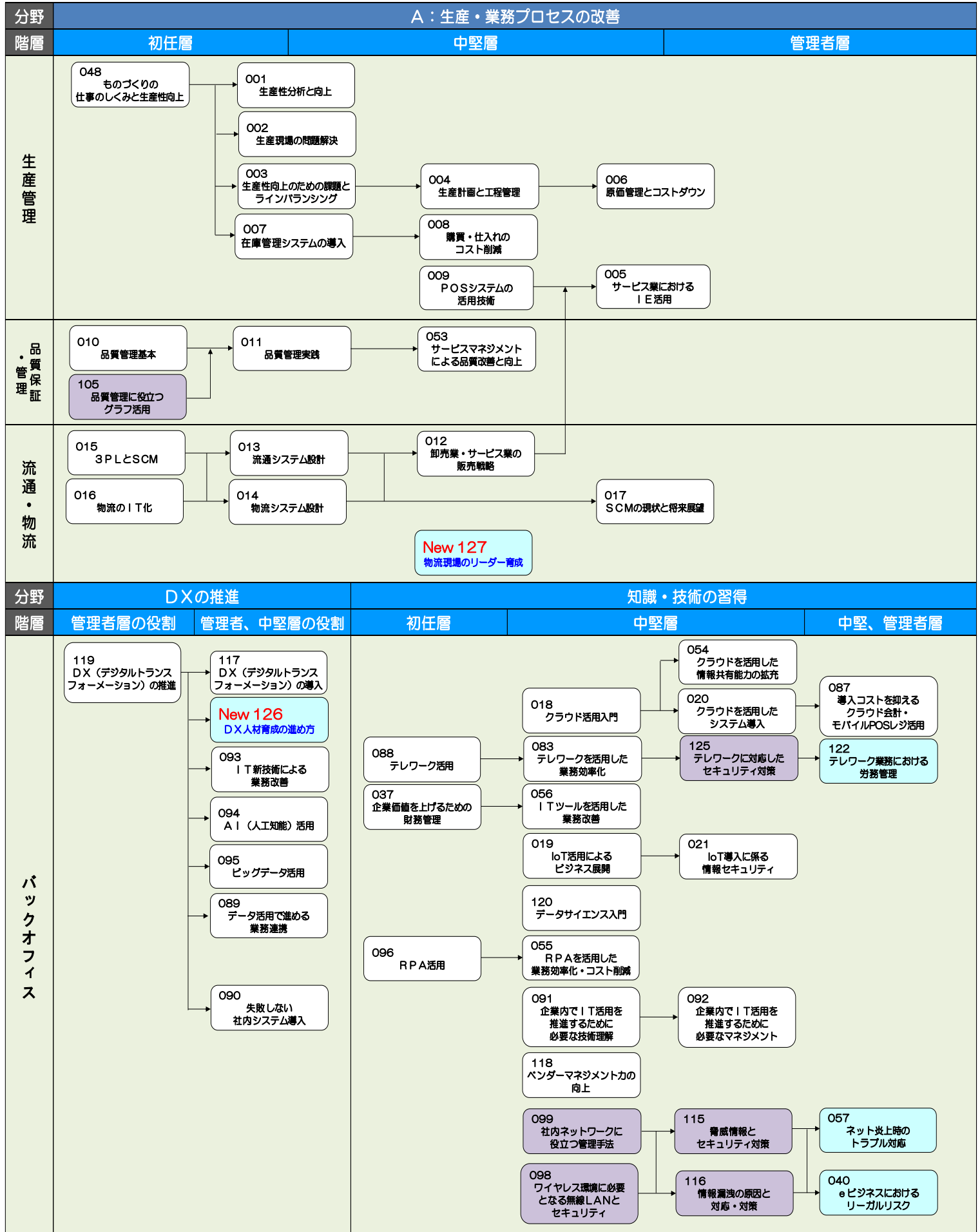
# 生産性向上支援訓練 コース一覧 (A) 42コース

目的	分野	小分類	カリキュラム番号・コース名	推奨対象者					掲載頁	
				DX 対応	機器	初任層	中堅層	管理者 層		中・高年 齢層
A 生産・業務プロセスの改善	生産管理	生産・開発計画	048 ものづくりの仕事のしくみと生産性向上			●				22
			001 生産性分析と向上				●			23
			002 生産現場の問題解決				●			24
		工程管理	003 生産性向上のための課題とラインバランシング				●			25
			004 生産計画と工程管理				●			26
		管理手法	005 サービス業における I E 活用					●		27
		原価管理	006 原価管理とコストダウン					●		28
		製品出荷・在庫管理	007 在庫管理システムの導入	DX			●			29
		購買・原材料在庫管理 ・払出	008 購買・仕入れのコスト削減				●			30
	009 P O Sシステムの活用技術		DX			●			31	
	品質保証	品質保証・管理手法	010 品質管理基本			●				32
			011 品質管理実践				●			33
			053 サービスマネジメントによる品質改善と向上				●			34
	流通・物流	流通・物流	015 3 P Lと S C M	DX		●				35
			016 物流の I T化	DX		●				36
			013 流通システム設計	DX			●			37
			014 物流システム設計	DX			●			38
			012 卸売業・サービス業の販売戦略	DX			●			39
			017 S C Mの現状と将来展望	DX				●		40
	バックオフィス	クラウド・IoT導入	018 クラウド活用入門	DX			●			41
			019 I o T活用によるビジネス展開	DX			●			42
			020 クラウドを活用したシステム導入	DX			●			43
			021 I o T導入に係る情報セキュリティ	DX			●			44
			054 クラウドを活用した情報共有能力の拡充	DX			●			45
			087 導入コストを抑えるクラウド会計・モバイルPOSレジ活用	DX			●	●		46
			083 テレワークを活用した業務効率化	DX			●			47
			088 テレワーク活用	DX	★	●				48
		システム導入	056 I Tツールを活用した業務改善	DX			●			49
			089 データ活用で進める業務連携	DX			●	●		50
			090 失敗しない社内システム導入	DX			●	●		51
			091 企業内で I T活用を推進するために必要な技術理解	DX			●	●		52
			092 企業内で I T活用を推進するために必要なマネジメント	DX			●	●		53
			117 DX (デジタルトランスフォーメーション) の導入	DX			●	●		54
			118 ベンダーマネジメント力の向上	DX			●			55
	新技術活用	093 I T新技術による業務改善	DX			●	●		56	
		094 A I (人工知能) 活用	DX			●	●		57	
		095 ビッグデータ活用	DX			●	●		58	
		055 R P Aを活用した業務効率化・コスト削減	DX			●			59	
		096 R P A活用	DX	★	●	●			60	
		119 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進	DX				●		61	
		120 データサイエンス入門	DX	★		●			62	
	財務管理	037 企業価値を上げるための財務管理				●			63	

【DX対応コース表記について】 ➡ : DX推進に向けたスタートコース DX : 令和5年度新規選定DX対応コース DX : 既選定済みDX対応コース ★ : パソコン使用等条件あり

# 生産性向上支援訓練 コース体系図 (A)

※他分野の関連コース   : 生産管理、品質保証・管理   : 組織マネジメント   : 売上げ増加   : IT業務改善

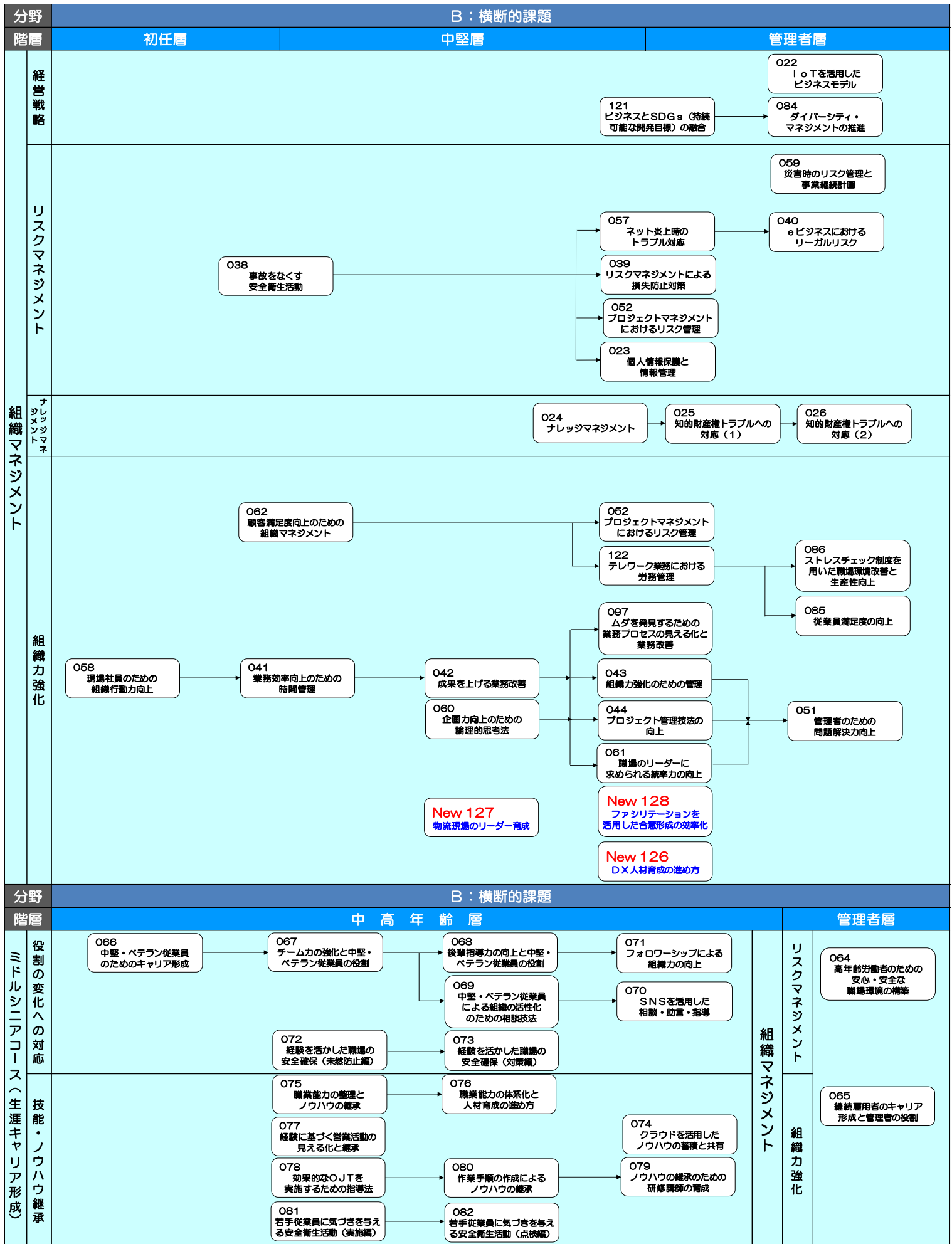


# 生産性向上支援訓練 コース一覧 (B) 48コース

目的	分野	小分類	カリキュラム番号・コース名	推奨対象者					掲載頁				
				DX 対応	機器	初任層	中堅層	管理者 層		中高年 年齢層			
B 横断的課題	組織 マネジ メント	経営戦略	022 IoTを活用したビジネスモデル	DX				●		64			
			084 ダイバーシティ・マネジメントの推進					●		65			
			121 ビジネスとSDGs（持続可能な開発目標）の融合	DX			●	●		66			
		リスクマネジメント	038 事故をなくす安全衛生活動					●			67		
			023 個人情報保護と情報管理						●		68		
			064 高齢労働者のための安心・安全な職場環境の構築						●		69		
			039 リスクマネジメントによる損失防止対策						●		70		
			059 災害時のリスク管理と事業継続計画						●		71		
			040 eビジネスにおけるリーガルリスク	DX						●	72		
			057 ネット炎上時のトラブル対応	DX						●	73		
		ナレッジマネジメント	024 ナレッジマネジメント						●		74		
			025 知的財産権トラブルへの対応（1）							●	75		
			026 知的財産権トラブルへの対応（2）							●	76		
		組織力強化	058 現場社員のための組織行動力向上					●			77		
			041 業務効率向上のための時間管理						●		78		
			062 顧客満足度向上のための組織マネジメント						●		79		
			060 企画力向上のための論理的思考法						●		80		
			042 成果を上げる業務改善						●		81		
			043 組織力強化のための管理							●	82		
			061 職場のリーダーに求められる統率力の向上							●	83		
			051 管理者のための問題解決力向上							●	84		
			044 プロジェクト管理技法の向上							●	85		
			052 プロジェクトマネジメントにおけるリスク管理							●	86		
			065 継続雇用者のキャリア形成と管理者の役割							●	87		
			085 従業員満足度の向上							●	88		
			086 ストレスチェック制度を用いた職場環境改善と生産性向上							●	89		
			097 ムダを発見するための業務プロセスの見える化と業務改善							●	90		
			122 テレワーク業務における労務管理	DX						●	●	91	
			126 DX人材育成の進め方	New	DX					●	●	92	
			127 物流現場のリーダー育成	New						●		93	
			128 ファシリテーションを活用した合意形成の効率化	New						●	●	94	
		ミドルシニアコース （生涯キャリア形成）	役割の変化への対応	066 中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成							●	95	
				067 チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割							●	96	
				068 後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割								●	97
				069 中堅・ベテラン従業員による組織の活性化のための相談技法								●	98
				070 SNSを活用した相談・助言・指導								●	99
				071 フォロワーシップによる組織力の向上								●	100
				072 経験を活かした職場の安全確保（未然防止編）								●	101
				073 経験を活かした職場の安全確保（対策編）								●	102
			技能・ノウハウ継承	074 クラウドを活用したノウハウの蓄積と共有								●	103
				075 職業能力の整理とノウハウの継承								●	104
				076 職業能力の体系化と人材育成の進め方								●	105
				077 経験に基づく営業活動の見える化と継承								●	106
				078 効果的なOJTを実施するための指導法								●	107
				079 ノウハウの継承のための研修講師の育成								●	108
		080 作業手順の作成によるノウハウの継承								●	109		
		081 若手従業員に気づきを与える安全衛生活動（実施編）								●	110		
		082 若手従業員に気づきを与える安全衛生活動（点検編）								●	111		

【DX対応コース表記について】 ➡ : DX推進に向けたスタートコース **DX** : 令和5年度新規選定DX対応コース **DX** : 既選定済みDX対応コース ★ : パソコン使用等条件あり

# 生産性向上支援訓練 コース体系図 (B)



生産性向上支援訓練 コース一覧 (C) 17コース (D) 21コース

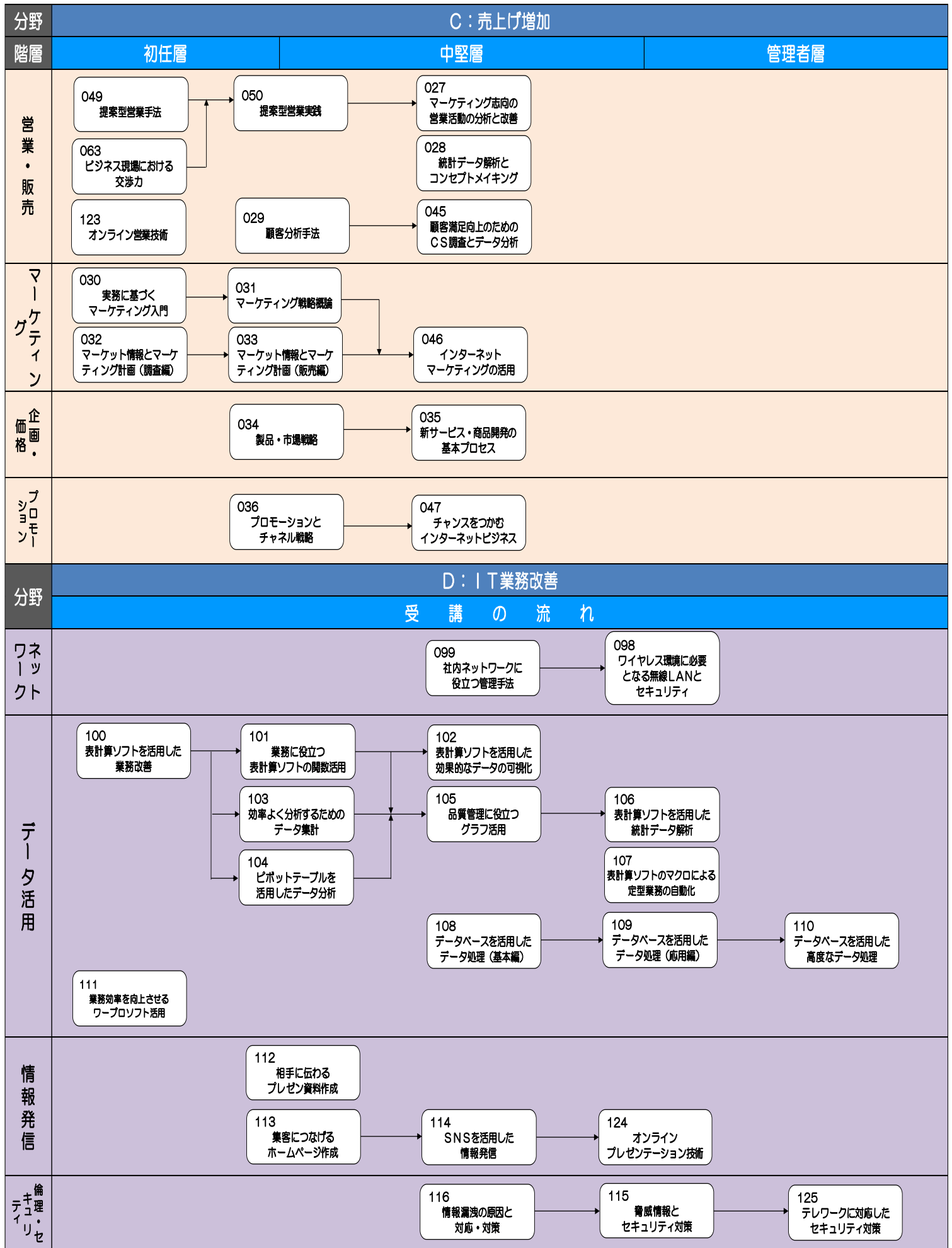
目的	分野	小分類	カリキュラム番号・コース名	DX 対応	機器	推奨対象者				掲載頁	
						初任層	中堅層	管理者 層	中高年 年齢層		
C 売上げ増加	営業・販売	顧客拡大	049 提案型営業手法			●				112	
			063 ビジネス現場における交渉力			●				113	
			050 提案型営業実践					●			114
			027 マーケティング志向の営業活動の分析と改善	DX			●			115	
			028 統計データ解析とコンセプトメイキング	DX			●			116	
			123 オンライン営業技術	DX	★	●	●			117	
	顧客情報	029 顧客分析手法	DX			●			118		
		045 顧客満足向上のためのCS調査とデータ分析	DX			●			119		
	マーケティング	概論	030 実務に基づくマーケティング入門			●				120	
			031 マーケティング戦略概論				●			121	
		顧客拡大	032 マーケット情報とマーケティング計画（調査編）			●				122	
			033 マーケット情報とマーケティング計画（販売編）			●				123	
			046 インターネットマーケティングの活用	DX			●			124	
	企画・価格	サービス・商品開発	034 製品・市場戦略				●			125	
			035 新サービス・商品開発の基本プロセス				●			126	
	シミュレーション	販売促進	036 プロモーションとチャネル戦略	DX			●			127	
			047 チャンスをつかむインターネットビジネス	DX			●			128	
D IT業務改善	ネットワーク	ネットワーク活用	098 ワイヤレス環境に必要な無線LANとセキュリティ	DX	★					129	
			099 社内ネットワークに役立つ管理手法	DX	★						130
	データ活用	表計算ソフト活用	100 表計算ソフトを活用した業務改善		★						131
			101 業務に役立つ表計算ソフトの関数活用		★						132
			102 表計算ソフトを活用した効果的なデータの可視化		★						133
			103 効率よく分析するためのデータ集計	DX	★						134
			104 ピボットテーブルを活用したデータ分析	DX	★						135
			105 品質管理に役立つグラフ活用	DX	★						136
			106 表計算ソフトを活用した統計データ解析	DX	★						137
			107 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化		★						138
	データベースソフト活用	108 データベースを活用したデータ処理（基本編）	DX	★						139	
		109 データベースを活用したデータ処理（応用編）	DX	★						140	
		110 データベースを活用した高度なデータ処理	DX	★						141	
	情報発信	インターネット活用	111 業務効率を向上させるワープロソフト活用		★						142
			112 相手に伝わるプレゼン資料作成		★						143
			113 集客につなげるホームページ作成		★						144
			114 SNSを活用した情報発信	DX	★						145
		124 オンラインプレゼンテーション技術	DX	★						146	
セキュリティ	セキュリティ対策	115 脅威情報とセキュリティ対策	DX							147	
		116 情報漏えいの原因と対応・対策	DX	★						148	
		125 テレワークに対応したセキュリティ対策	DX							149	

【DX対応コース表記について】▶ : DX推進に向けたスタートコース DX : 令和5年度新規選定DX対応コース DX : 既選定済みDX対応コース

★ : パソコン使用等条件あり



# 生産性向上支援訓練 コース体系図 (C) ・ (D)



生産性向上人材育成支援センターでは、

# 中小企業等におけるDX人材の育成

を支援しています！

現在、社会環境・ビジネス環境の変化に対応すべく、企業・組織を中心に社会全体のDX（デジタルトランスフォーメーション）が進んでいます。これに対応するためには、年代・職種を問わず、働き手一人ひとりがDXに参画し、デジタル技術を活用したプロセスの改善や、デジタルを活用しやすい組織づくりに取り組むことが重要となります。

生産性向上人材育成支援センターでは、生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から「DX対応コース」を選定し、中小企業・事業主団体等の“DX人材の育成”を支援しています。



## DX対応コースの概要

生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から、訓練目的・分野による分類とは別に、DX推進に向けたスタートコース、ネットワーク・セキュリティに関するコースを選定し、**共通領域**として設定しました。また、DXに向けた**3つの課題**を設定し、それぞれの課題解決に対応したコースを選定・分類しています。

共通領域	<b>DX推進に向けたスタートコース</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○受講対象者 事業主の指示を受けた在職者の方</li> <li>○訓練日数・時間 おおむね1～5日 (4～30時間)</li> <li>○受講料(1人あたり・税込) 2,200円～6,600円</li> <li>○訓練会場 自社会議室等を訓練会場とすることが可能です(講師を派遣します)</li> </ul>
	⇒DXの推進に必要な知識や導入事例を知りたい	
<b>ネットワーク・セキュリティに関するコース</b>		
⇒社内ネットワークのセキュリティ対策を進めたい		
3つの課題	<b>デジタル化と新たな生活様式の課題への対応</b>	
	⇒自社業務に適切なITツールを選定したい ⇒POSシステムを活用して売上げを伸ばしたい	
	<b>業務プロセスの課題への対応</b>	
	⇒システム化に伴うコストの考え方を知りたい ⇒物流全体の最適化・効率化を実現したい	
	<b>ビジネスモデルの課題への対応</b>	
	⇒IoTによるビジネス環境の変化や動向を知りたい ⇒システム開発に必要な発注者の役割を理解したい	

※DX対応コースの一覧は、次頁をご覧ください。

## 訓練受講までの流れ

課題や方策の整理

当センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。

訓練コースの  
コーディネート

相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

訓練受講

所定の期日までに受講料の支払い等の手続きを行い、訓練を受講してください。



# DX対応コース一覧 全58コース (2023年4月現在)



共通領域

## DX推進に向けたスタートコース 3コース

119 DXの推進      117 DXの導入      126 DX人材育成の進め方

## ネットワーク・セキュリティに関するコース 8コース

021 IoT導入に係る情報セキュリティ      040 eビジネスにおけるリーガルリスク  
 057 ネット炎上時のトラブル対応      098 ワイヤレス環境に必要な無線LANセキュリティ  
 099 社内ネットワークに役立つ管理手法      115 脅威情報とセキュリティ対策  
 116 情報漏えいの原因と対応・対策      125 テレワークに対応したセキュリティ対策

3つの課題

### デジタル化と新しい生活様式の課題への対応 18コース

### 業務プロセスの課題への対応 22コース

### ビジネスモデルの課題への対応 7コース

生産・業務プロセスの改善

009 POSシステムの活用技術  
 056 ITツールを活用した業務改善  
 091 企業内でIT活用を推進するために必要な技術理解  
 092 企業内でIT活用を推進するために必要なマネジメント  
 095 ビッグデータ活用  
 055 RPAを活用した業務効率化・コスト削減  
 096 RPA活用  
 083 テレワークを活用した業務効率化  
 088 テレワーク活用  
 120 データサイエンス入門

007 在庫管理システムの導入  
 016 物流のIT化  
 013 流通システム設計  
 014 物流システム設計  
 012 卸売業・サービス業の販売戦略  
 018 クラウド活用入門  
 020 クラウドを活用したシステム導入  
 054 クラウドを活用した情報共有能力の拡充  
 093 IT新技術による業務改善  
 094 AI(人工知能)活用  
 090 失敗しない社内システム導入  
 087 導入コストを抑えるクラウド会計・モバイルPOSレジ活用

015 3PLとSCM  
 017 SCMの現状と将来展望  
 019 IoT活用によるビジネス展開  
 089 データ活用で進める業務連携  
 118 ベンダーマネジメント力の向上

横断的課題

122 テレワーク業務における労務管理

022 IoTを活用したビジネスモデル  
 121 ビジネスとSDGs（持続可能な開発目標）の融合

売上げ増加

123 オンライン営業技術

027 マーケティング志向の営業活動の分析と改善  
 028 統計データ解析とコンセプトメイキング  
 046 インターネットマーケティングの活用  
 036 プロモーションとチャネル戦略  
 047 チャンスをつかむインターネットビジネス  
 029 顧客分析手法  
 045 顧客満足度向上のためのCS調査とデータ分析

IT業務改善

103 効率よく分析するためのデータ集計  
 104 ピボットテーブルを活用したデータ分析  
 105 品質管理に役立つグラフ活用  
 106 表計算ソフトを活用した統計データ解析  
 114 SNSを活用した情報発信  
 124 オンラインプレゼンテーション技術

108 データベースを活用したデータ処理（基本編）  
 109 データベースを活用したデータ処理（応用編）  
 110 データベースを活用した高度なデータ処理

## ミドルシニアコース（生涯キャリア形成）のご紹介

生産性向上人材育成支援センターでは、

70歳までの就業機会の確保に向けた従業員教育  
を支援しています！

人手不足の深刻化や技術革新が進展する中、中小企業等が事業展開を図るためには、従業員を育成し、企業の労働生産性を高めていくことに加えて、70歳までの就業機会の確保に向けて企業を支えるミドルシニア世代の「役割の変化へ対応できる能力」や「技能・ノウハウを継承する能力」を育成することが重要です。

生産性向上人材育成支援センターでは、生産性向上支援訓練の新たなメニューとして、令和2年度から「ミドルシニアコース」を開始し、中高年齢層の従業員の“生涯キャリア形成”を支援しています。

## ミドルシニアコースの概要

ミドルシニアコースでは、“従業員のモチベーションの維持”、“後輩への技能継承”など、企業の定年延長や継続雇用等における課題の解決に効果的なカリキュラムをご用意しています。

○訓練で習得できる要素

【役割の変化への対応】

- ・求められる役割の理解
- ・メンタリング

など

【技能・ノウハウ継承】

- ・作業手順の作成方法
- ・研修技法

など

○受講対象者

45歳以上の従業員の方

○訓練日数

おおむね1～5日  
(6～30時間)

○受講料（1人あたり・税込）

3,300円～6,600円

○訓練会場

自社会議室等を訓練会場とすることが可能です  
(企業に講師を派遣します)

## 訓練受講までの流れ

課題や方策の整理

●当センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。

訓練コースの  
コーディネート

●相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

- ・ミドルシニア世代の従業員に、今後のキャリアについて考えさせたい
- ・ミドルシニア世代の従業員に、組織の中で求められている役割を理解させたい
- ・従業員の経験を活かした後輩従業員への指導方法を学ばせたい

役割の変化への対応

分野  
・  
コース

- ・中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成
- ・後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割
- ・SNSを活用した相談・助言・指導
- ・フォロワーシップによる組織力の向上

- ・ミドルシニア世代の従業員が持つ技術やノウハウを見える化したい
- ・技能継承の指導者の「教える」スキルを向上させたい
- ・ミドルシニア世代の従業員を講師として、研修や勉強会を開催したい

技能・ノウハウ継承

分野  
・  
コース

- ・クラウドを活用したノウハウの蓄積と共有
- ・作業手順の作成によるノウハウの継承
- ・効果的なOJTを実施するための指導法
- ・ノウハウの継承のための研修講師の育成

訓練受講

●所定の期日までに受講料の支払い等の手続きを行い、訓練を受講してください。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。

株式会社かねたや家具店 様

コース：中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成

日時：令和4年6月14日(火)、15日(水)、16日(木)、21日(火)

形式：集合形式



代表取締役社長 柴田幸範 様

### 1. 訓練を利用した経緯・動機を教えてください

当社は、4年前に私が社長となってから女性活躍やハラスメントに関する研修等、社員教育に力を入れてきましたが、研修担当部署からベテラン従業員に向けた研修を実施したいとの提案がきっかけになりました。

私も、当社が家具販売という事業の性質上、ベテランのノウハウは会社の資産であり、シニア層のモチベーションアップを図りたいと思っていた背景もあります。彼らのモチベーションが上がり、ムードメーカーになることで、社内に活気があふれること、後輩従業員への教育にもっと前向きに取り組んでくれるのではないかと狙いもありました。

そのため、ミドルシニアコースの訓練実施を決定しました。

### 2. 訓練を利用していかがでしたか

集合形式で実施したのが、成功の大きな要因だと感じています。コロナ禍以降、オンライン以外の研修は生産性向上支援訓練が初めてでした。各店舗の従業員が一堂に会し、訓練を受講することで、同じ年代同士が抱える課題についても共有でき、良い刺激になったようです。

また、訓練終了後に当社で実施したアンケートが非常に興味深かったです。「家具の販売は人生の節目に立ち会える、やはり楽しい仕事だと思い出せた。このことを後輩に伝えたい。」と記載されたアンケートが印象に残っています。普段現場に立っていない私では気付きにくい視点でした。アンケート結果を通して、従業員に活力が湧いたと感じられました。

### 3. 今後どのように訓練を活用していきたいですか

当社は10月決算のため、次年度の計画はこれから具体的に組み立てていく予定です。

現状では、中間層に向けた訓練を実施したいと考えています。従業員に店長への昇格を打診してもすぐに対応することが困難な場合があるため、訓練を通して店長として必要となる知識等を習得し、即戦力として活躍してほしいと考えています。

商品本部 商品開発部 家具開発課  
満武 徹 様

### 1. 訓練を受講していかがでしたか

最初は生産性向上支援訓練で何をやるのか分からず不安でしたが、講師が素晴らしく終始なごやかに過ごせました。グループワークも多く、ベテラン従業員として、これまで苦勞したこと、これからやるべきことを気持ちよく話すことができました。他の従業員の信念や思いを聞いたことは大きかったです。個人ワークでは、これまでの経験を文章に起こすことで色々と振り返ることができました。訓練を通して、従業員それぞれ課題があると知り、また、業務以外での皆の新たな一面も知る事ができ、とても有意義な訓練でした。

### 2. 訓練で学んだことは仕事にどのように活かされていますか

私は「これまでやってきたことを残すこと」が使命だと、この訓練で思い起こされました。一方で、若手の社員から学ぶ事や教えて頂く事もあり、特にデジタルな分野についてはアナログ世代の私たちはかないません…(笑)いくつになっても常に職場は勉強の場です。これまで以上に若手社員とコミュニケーションを図り、年齢を問わず共に同じ目線で仕事を進め、気軽に相談される人生の先輩でいられるよう努めていきたいと思っています。





# 生産性向上支援訓練 人気のコース トップ5

令和3年度~4年度にポリテクセンター千葉で実施したオーダーコースの中でご利用いただいた人気のコース**目的別トップ5**をご紹介します。

目的	順位	分野	コース		
A 生産 プロセス・ 業務の 改善	1	生産管理	048	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上	
	2	生産管理	006	原価管理とコストダウン	
	3	生産管理	002	生産現場の問題解決	
	4	品質保証・管理	010	品質管理基本	
	5	生産管理	004	生産計画と工程管理	
B 横断的 課題	1	組織マネジメント	043	組織力強化のための管理	
	2	組織マネジメント	058	現場社員のための組織行動力向上	
	3	組織マネジメント	061	職場のリーダーに求められる統率力の向上	
	4	ミドルシニアコース (生涯キャリア形成)	066	中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成	
	5	組織マネジメント	051	管理者のための問題解決力向上	
C 売上 増加	1	営業・販売	050	提案型営業実践	
	2	営業・販売	027	マーケティング志向の営業活動の分析と改善	DX
	3	プロモーション	036	プロモーションとチャネル戦略	DX
	4	企画・価格	035	新サービス・商品開発の基本プロセス	
	5	プロモーション	047	チャンスをつかむインターネットビジネス	DX
D 業I 務T 改善	1	データ活用	100	表計算ソフトを活用した業務改善	
	2	データ活用	101	業務に役立つ表計算ソフトの関数活用	
	3	倫理・セキュリティ	115	脅威情報とセキュリティ対策	DX
	4	データ活用	107	表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化	
	5	データ活用	103	効率よく分析するためのデータ集計	DX



# 能力開発セミナーのご紹介

## ものづくり現場に役立つ技術

～「ものづくり」の現場を支える人材育成～

今の仕事の  
スキルを  
高めたい方

新たな技術を  
身につけたい方

社員の  
スキルアップを  
図りたい方

99.0%

以上※

セミナー満足度

\* 昨年度、セミナーを利用した方から「受講して満足した」との評価を得ています！

### 在職者訓練（能力開発セミナー）とは

実習付きの技能・技術セミナーです！

課題を抱えている皆様をサポートします！

在職者の方を対象に、ものづくりに関する専門知識や技能・技術の向上を目的とした短期間のセミナーです。従業員一人一人の技術力を高めることで、技術革新、産業構造の変化、生産性向上、新分野展開など、企業が抱える様々な課題に対応できる組織としての基盤が構築されます。従業員のスキルアップにぜひご活用ください。

◆ 主な訓練分野：機械系、電気・電子系、生産管理

◆ 訓練実施場所：高度ポリテクセンター

◆ 訓練期間：2日～5日



## 能力開発セミナー4つのポイント

### ポイント1

ものづくり分野を中心とした実践的なコースを体系的に取り揃えております。

### ポイント2

受講者満足度95%以上！短期間に現場で役立つ技能・技術の習得を目指します。

### ポイント3

受講料は9,000円～。  
受講しやすい料金設定です！

### ポイント4

人材開発支援助成金、補助金をご活用いただけます。

### オーダーメイド型セミナー

このようなお悩みがあればご相談ください。

公開中のセミナーの日程が合わない

自社の実情や目的に合った研修を実施したい

自社では講師や機器・場所が不足していて研修ができない

事業主や事業主団体の皆様のご要望に応じて、訓練・内容・日程・時間帯を個別に相談しながら計画、実施するオーダーメイドセミナーを承っています。

お問合せ

〒261-0014 千葉市美浜区若葉3-1-2

◆事業課 ☎ 043-296-2582



高度ポリテクセンター 検索

## メルマガ会員募集中！

月に1回、セミナーの最新情報を発信しています。



【企業・事業主団体/ポリテクセンター】

1. 生産性向上支援訓練の利用に係るお問合せ

- 相談（課題や要望の把握・整理）
  - ・ 受講ニーズの具体化（訓練分野、実施時期、実施場所、受講者数等）の相談を行います。
  - ・ 生産性向上支援訓練利用要件の確認等を行います。

【企業・事業主団体】

2. 申請書類の提出（②は希望時のみ）

- ① 企業・事業主団体は「**生産性向上支援訓練の利用に係る確認書**」
  - 具体的な受講ニーズ（分野・コース、実施時期、実施場所、訓練時間数、受講者数）等の訓練に対する要望をできる限り詳しく記載し、提出してください。
- ② 同時双方向通信(オンライン及びハイブリット※2)で受講を希望する場合
  - 「**同時双方向通信による生産性向上支援訓練の利用に係る質問票**」も併せて提出してください。

【ポリテクセンター】

3. 実施機関の選定

- 提出された「**生産性向上支援訓練の利用に係る確認書**」を基に、当センターに登録している実施機関の中から、企業・事業主団体の**要望等に対応できる実施機関を選定**します。

【企業・事業主団体/実施機関/ポリテクセンター3者打ち合わせ】

4. 生産性向上支援訓練のカリキュラム内容を設定

- 選定された**実施機関立会**いのもと、**企業・事業主団体と具体的な内容を協議**し、その内容をカリキュラムに反映し、**カスタマイズ**します。

【企業・事業主団体】

5. 受講申込書の提出

- カスタマイズされたカリキュラム内容を確認し、「**生産性向上支援訓練受講申込書**」を提出してください。

【ポリテクセンター】

6. 受講申込書の受付

- 受講申込書の受付後、受講料の請求書を送付します。訓練日の**14日前まで**にお振込みください。

※3

- ※1 申請書類の提出から訓練実施まで2か月程度を要します。予算に限りがありますので、ご希望に添えない場合があります。
- ※2 ハイブリットとは訓練の形式において、オンライン・集合形式の組み合わせ型を意味します。
- ※3 キャンセルの場合は、訓練開始日の14日前（土日祝日の場合はその前の平日）の16時までにお申し出ください。

# 生産性向上支援訓練の利用に係る確認書（記入例）

令和 〇年 〇月 〇日

## 1 事業所等の情報

事業所等名	株式会社〇〇エンジニアリング				
所在地	〒 ***-****	千葉県千葉市〇〇区〇〇 〇-〇-〇			
担当者氏名	支援 次郎		所属・役職等	総務部 総務課長	
E-Mail	****@****.co.jp		TEL	***-***-****	FAX ***-***-****

## 2 希望する訓練の内容

訓練分野	生涯キャリア形成	コース名 (※1)	候補①	SNSを活用した相談・助言・指導		
			候補②	職業能力の整理とノウハウの継承		
			候補③			
訓練時間	6 時間	受講予定者数・主な階層	10 人	中高年齢	層	
受講料	一人あたり	3,300 円(税込)	総額	33,000 円(税込)		
オンラインコース	〇	同時双方向通信による生産性向上支援訓練(オンラインコース)として利用(※2)				
訓練実施時期 (※3)	1日目	6月中	曜日	水曜又は金曜	時間	14~17時頃
	2日目	6月中	曜日	水曜又は金曜	時間	14~17時頃
	3日目		曜日		時間	
	4日目		曜日		時間	
	5日目		曜日		時間	
	6日目		曜日		時間	
訓練実施場所 (所在地)	株式会社〇〇エンジニアリング 船橋工場					
	〒 ***-****	千葉県船橋市〇〇 〇-〇-〇				
使用機器等	ホワイトボード、スクリーン、プロジェクター					
実施機関に関する希望等	・製造業、特に鉄鋼業関係企業への豊富な支援実績があること。 ・講師との対面での打合せが複数回可能であること。 ※特定の実施機関や講師を指定した利用希望についてはお受けできません。					
補足事項	・新入社員研修以外に社員研修を実施したことがないため、十分な打合せを行いたい。 ・訓練1日目と2日目の間に課題を与えるなど、受講者のモチベーションを高める工夫を取り入れて欲しい。 ・実施時期については、7月又は8月でも調整可。 ・コロナウイルスの感染拡大状況によっては、オンライン形式で開催したい。					

※1 利用希望コースを1つに決定できない場合は、複数の候補を記入できます。なお、訓練の利用を複数回希望される場合は、それぞれについて本確認書を提出してください。

※2 訓練実施までに集合形式からオンライン形式に変更する可能性がある場合についても、〇をしてください。

※3 訓練実施時期は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの間とし、開始日と終了日が必ず6か月以内となるようにご記入ください。

## 3 注意事項(以下の項目に同意の上、チェックを入れてください。)

(1) 訓練を担当する実施機関は、本確認書の内容を踏まえ、登録実施機関の実績や受託条件等を考慮した上で当センターにおいて選定するため、特定の実施機関や講師を指定した利用希望はお受けできません。	<input checked="" type="checkbox"/>
(2) 実際の受講申込者数が上記の受講予定者数よりも少なくなった場合には、講師や日程の再調整が必要となる又は訓練が実施できない場合があります。	<input checked="" type="checkbox"/>
(3) 貴社(貴団体)の都合により訓練の利用が困難となった場合や、訓練日程等を変更する必要が生じた場合は、速やかに当センターにご連絡をお願いします。ご連絡がない場合や、所定の期日を過ぎてからご連絡があった場合は、訓練の実施の可否に関わらず受講料の全額をご負担いただくだけでなく、以後、利用を希望する訓練の実施時期の見直し等をお願いする場合があります。また、貴社(貴団体)の都合による一方的な訓練の中止が続いた場合、以後の訓練利用を制限させていただく場合があります。	<input checked="" type="checkbox"/>
(4) 訓練実施期間中に1回以上、当センター職員が訓練会場に訪問し、訓練の実施状況を確認します。また、その際に写真の撮影や録画を行う場合があります。	<input checked="" type="checkbox"/>
(5) 訓練の質向上や訓練効果の検証を行うため、受講者向けアンケート(訓練終了時)及び事業主向けアンケート(訓練終了後概ね2~3ヶ月後)を実施します。また、事例収集の一環として、ヒアリング調査へのご協力をお願いする場合があります。	<input checked="" type="checkbox"/>

### 当機構の保有個人情報保護方針、利用目的

(1) 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。

(2) ご記入いただいた個人情報については、訓練の実施に関する事務処理(訓練実施機関への提供、本訓練に関する各種連絡、訓練終了後のアンケート送付等)及び業務統計に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。

### 【機構処理欄】

施設名: 千葉職業能力開発促進センター	受付日:
担当者:	番号:

# 生産性向上支援訓練 階層別コース選択のガイドライン例

(複数のコース選択可)

推奨対象者	初任層	中堅層	管理者層	
目的	分野	コース名	コース名	
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産管理</li> <li>品質保証・管理</li> <li>流通・物流</li> <li>バックオフィス</li> </ul>	048 ものづくりの仕事のしくみと生産性向上	002 生産現場の問題解決	006 原価管理とコストダウン
		010 品質管理基本	011 品質管理実践	
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織マネジメント</li> </ul>	038 事故をなくす安全衛生活動	041 業務効率向上のための時間管理	043 組織力強化のための管理 061 職場のリーダーに求められる統率力の向上 128 ファシリテーションを活用した合意形成の効率化 <span style="color:red">NEW</span>
		058 現場社員のための組織行動力向上	042 成果を上げる業務改善	
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業・販売</li> <li>マーケティング</li> <li>企画・価格</li> <li>プロモーション</li> </ul>	049 提案型営業手法	050 提案型営業実践	
		063 ビジネス現場における交渉力		
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク</li> <li>データ活用</li> <li>情報発信</li> <li>倫理・セキュリティ</li> </ul>	100 表計算ソフトを活用した業務改善	101 業務に役立つ表計算ソフトの関数活用	107 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
		111 業務効率を向上させるワープロソフト活用	112 相手に伝わるプレゼン資料の作成	
DX対応コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産管理</li> <li>品質保証・管理</li> <li>流通・物流</li> <li>バックオフィス</li> </ul>	088 テレワーク活用	056 ITツールを活用した業務改善	119 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進 117 DX(デジタルトランスフォーメーション)の導入
			055 RPAを活用した業務効率化・コスト削減	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織マネジメント</li> </ul>		126 DX人材育成の進め方 <span style="color:red">NEW</span>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>営業・販売</li> <li>マーケティング</li> <li>企画・価格</li> <li>プロモーション</li> </ul>		046 インターネットマーケティングの活用
			047 チャンスをつかむインターネットビジネス	
ミドルシニアコース (生涯キャリア形成)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク</li> <li>データ活用</li> <li>情報発信</li> <li>倫理・セキュリティ</li> </ul>	103 効率よく分析するためのデータ集計	108 データベースを活用したデータ処理(基本)	115 脅威情報とセキュリティ対策
		104 ピボットテーブルを活用したデータ分析	116 情報漏えいの原因と対応・対策	
		067 チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割		
		068 後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割		
		071 フォロワーシップによる組織力の向上		
		078 効果的なOJTを実施するための指導法		
		080 作業手順の作成によるノウハウの継承		

※ このガイドライン例は、全てのコースを表記しておりません。コースの選択については、当センター 事業主支援相談員・DX人材育成推進員にご相談ください。

## 全国実績

(累計)

受講者数

179,947人

利用した企業数

60,384社

受講者評価

(業務への役立ち度)

98.2%

※'17~'22.9月未まで

公的助成金、補助金の利用が可能な場合があります。詳細は、所轄の機関にご相談ください。(令和4年12月現在)

- 「人材開発支援助成金(特定訓練コース)」千葉労働局職業対策課分室(043-441-5678)
- 「人材開発支援助成金(事業展開等リスクリング支援コース)」千葉労働局職業対策課分室(043-441-5678)
- 「千葉市中小企業人材育成研修費補助金」千葉市役所雇用推進課(043-245-5278)